

問題点・課題、運行改善方策の検討(案)

運行に関わる現状や問題点

利用者実態調査

バス停乗降者数調査結果

乗車実績はダイヤ改正前より改善  
・全ルートで平・休日とも利用が増加

主要バス停では利用が増加しているが、一部バス停では利用が少ない  
・総合福祉センターやイオンタウン、近鉄弥富駅南口など、ダイヤ改正でポイントとしてきた主要バス停で利用が増加

時間帯やルートにより利用が少ない  
・1日あたりの平均乗車人員が少ないのは東部ルートであるが、1便あたりに換算すると、北部ルートが最も少ない  
・平・休日ともに朝・夕の利用が比較的少ない

少ない1便あたり乗車人員  
・1便あたり5~10人と少ない

利用者の多くは高齢者で利用目的は公共施設利用や買い物が多い  
・約7割が65歳以上  
・利用目的は公共施設利用や買い物が多い

バス相互での乗り換え利用は少ない  
・他ルートや周辺自治体のバスへの乗換えは少ない

モニタリング調査結果(企業)

平日移動、定時勤務の事業所が多い

・約6割は定時勤務  
・始業は8:30~9:00、終業は17:00~18:00が多い

通勤手段の多くはマイカー

・マイカー通勤が8割以上で、県内東方面からが多い

環境等に配慮した通勤促進の取組は少ない

・約9割で取組の実施予定なし

利便性の高い駅は地下鉄名古屋港駅

・通勤にバスを利用する場合は、地下鉄名古屋港駅の利便性が最も高く、近鉄弥富駅や近鉄蟹江駅も比較的高い

企業におけるバス利用意識が低い

・バスの必要性を感じているのは約4分の1  
・運行便数への改善要望が多い

モニタリング調査結果(住民)

■日常生活について

地域により運転免許保有状況の偏りがある  
・弥生小学校区や桜小学校区で運転免許を保有していない人が多い  
・返納の意思は約1割

日常は自動車利用が非常に多い

・自動車利用が多く、特に十四山地区や大藤小学校区、白鳥小学校区で多い  
・近鉄名古屋線の利用は、通勤・通学、買い物目的で約2割  
・外出する曜日は特に決まっていない人が多い

外出時間帯は目的により特徴

・外出時間は、通院や公共施設利用は概ね午前中に行き、帰り、買い物は午前中に外出が多い

目的地は市内や名古屋が多い

・通勤・通学や買い物は弥富市内や名古屋市、通院や公共施設利用は弥富市内が多い

■きんちゃんバスについて

利用状況が低い

・利用している割合は約5%で、弥生小学校区や桜小学校区、十四山小学校区で特に利用状況が低い

・ルートの不一致や便数理由が多く、特に大藤小学校区、栄南小学校区では便数理由が多

バス停設置要望は少ない

・約5割が最寄りのバス停まで5分以内に居住しており、バス停の設置要望は少ない

要望が改善された場合は高い利用意向

・便数やダイヤ、ルートに対する要望が増加  
・改善された場合、約7割に利用意向

運行経費に係る住民の負担増は望まれている

・バスを率先して利用する、企業や商店が一部負担すべきと考え、市の負担もやむを得ないと考えている

■運行方法について

現行の運行方法を望む声が多い

・現在のきんちゃんバスの方が良いと考えている人が多い

・予約制運行に関しては、予約に関する懸念が多い

・予約制運行の利点は空(カラ)の状態での運行がなくなるからと考えている人が多い

・予約制運行の料金は現行の料金

その他

■収支

収入が減少  
・年度別月平均収入が減少傾向

運行経費が減少

・H22年度に比べH24年度の月平均運行経費は約6割まで減少

収支は改善

・収支、収支率ともに改善傾向

■福祉タクシー

2つの事業を展開

・「心身障害者福祉タクシー料金助成事業」「高齢者等福祉タクシー料金助成事業」を展開

1人での移動に制約のある方を対象に事業展開

・「心身障害者福祉タクシー料金助成事業」は、身体障害者手帳(1~3級)や療育手帳(A、B判定)、精神障害者保健福祉手帳(1、2級)所有者を対象

・「高齢者等福祉タクシー料金助成事業」は要介護認定又は要支援認定を受けた方を対象

利用券の利用枚数や扶助費総額は増加傾向

・両事業ともに増加傾向

■他自治体バスとの乗り継ぎ

弥富市周辺を運行する他自治体のバス4路線のうち、乗り継ぎ可能な路線は3路線

・飛島公共交通バス蟹江線及び飛島コミュニティバス、木曾岬町自主運行バス中央線及び源緑見入線が運行

・乗り継ぎ可能なバス停があるのは蟹江線及び木曾岬町自主運行バスの2路線

蟹江線とは東部ルートの2箇所

のバス停で乗り継ぎ可能だが不便

・「善太橋西」及び「亀ヶ地」のバス停で乗り継ぎ可能

・乗り継ぎには3分から75分待つ必要がある

木曾岬町自主運行バスとは5箇所

のバス停で乗り継ぎ可能だが不便

・「歴史民俗資料館」、「海南病院前」、「弥富市役所」、「近鉄弥富駅南口」、「近鉄弥富駅北口」で乗り継ぎが可能

・乗り継ぎには2分~168分待つ必要がある

弥富市が目指す地域公共交通の姿に対する状況

(弥富市地域公共交通総合連携計画H22より)

市内バス運行の改善・充実

①低床バスの導入  
→5台中2台導入済

②利用実態とニーズに即した運行形態・時間帯・ルートの構築

③市民ニーズや地域の実情に応じた位置へのバス停の設置、環境整備  
→モニタリング調査や利用実態調査等の結果を踏まえたダイヤ改正を平成23・24年4月に実施

→平成24年度より既設駐輪場を活用したサイクル&バスライドを開始

④潜在的なバス利用者の掘り起こしによる公共交通システムの活性化  
→平成23・24年度とお試し乗車券の全戸配布を実施

→お祭り等のイベントにおけるバス車両展示、啓発品配布等を実施

⑤近鉄弥富駅、佐古木駅ダイヤとの接続  
→平成24年4月ダイヤ改正時に時刻表に乗換えダイヤを表示

⑥周辺自治体の公共交通との連携  
→飛島公共交通バスや木曾岬長自主運行バスとの乗換えには不便なダイヤ

⑦高齢者や学生等の交通弱者への対応  
→平成24年4月1日より本格運行開始

⑧地域住民ニーズの把握と公共交通運行システムへの反映  
→モニタリング調査や利用実態調査等の結果を踏まえたダイヤ改正を平成23・24年4月に実施

⑨高齢者の社会活動参加機会拡大による地域の活性化  
→平成23年4月ダイヤ改正時に、全便の総合福祉センターやイオンタウンへの乗り入れ開始

→シルバーバスを平成23年4月に導入

⑩地域、利用者、事業者との連携・協力  
→平成23年度より広告事業を導入

公共交通サービス水準格差の解消

①地域住民ニーズの把握、反映  
→モニタリング調査や利用実態調査等の結果を踏まえたダイヤ改正を平成23・24年4月に実施

運行の課題

ニーズに即した運行改善

・利用者は増加しているものの、依然、利用が少ない時間帯やルートがあることから、地域特性等を加味したさらなる効率的な改善が必要  
→予約制運行については、予約に関する懸念から、現在の運行方法が望まれている

・現在の利用目的や日常の交通行動の状況を踏まえ、ニーズに即した運行改善が必要

・利用実態を踏まえたバス車両の更新が必要

・乗り継ぎバス停や西部臨海部の事業所の実態を踏まえ、周辺自治体との連携を視野に入れた運行改善の検討が必要

・福祉タクシー利用者は、1人での移動に制約のある方が多く、現状のきんちゃんバスの利用は困難

継続的なPR、利用促進

・利用は増加しているが、現在展開している施策の周知のほか、コミュニティバスの果たす役割やメリットについて啓発し、さらなる利用促進を図ることが必要

・鉄道(近鉄)、福祉センター、イオン利用者などターゲットを明確にした利用促進活動の検討が必要

地域で守り育てる体制の展開検討

・商業施設や病院、企業による協力、地域におけるサポートの継続的展開の検討が必要

・利用は増加しているが、財政的には厳しい状況は変わらないため、存続に対する危機感を共有する場の創出の検討が必要

運行改善方策の検討(案)

周辺自治体との連携や、中・長期的な視点での新たな運行形態の導入も含め、現状の利用実態を踏まえた改善を実施

周辺自治体との連携による乗り継ぎ改善

・弥富市周辺を運行する飛島公共交通バスや木曾岬町自主運行バスと連携し、乗り継ぎの改善を検討  
・通勤需要に対応し、名古屋市内へも運行している飛島コミュニティバス名港線との乗り継ぎや、西部臨海部への相互乗り入れなどを検討

中・長期的な視点での新たな運行方法の導入検討と適切な大きさの車両導入

・北部ルートや東部ルートなど、利用の少ないルートへの予約制運行の中・長期的な視点での導入検討  
・予約制運行を実施する場合のタクシー車両の有効活用や、更新時期に合わせたワゴン車の導入など、利用実態に即した適切な大きさの車両の導入を検討

ニーズに即したダイヤの見直し

・H24.4以降、日曜日・祝日の運休や夜間便等の削減など効率化を図っているため、各路線のニーズに即したダイヤ改善を検討

【北部ルート】  
通勤・通学時間帯の利用が非常に少ないことから、この時間帯の便を削減する。  
・平日第1~3、15便の廃止  
・休日第12便の廃止

周知・利用促進活動の積極的展開

・利用機会を創出するためのお試し乗車券配布を定期的実施  
・自治会の会合等に対し、現状を知り危機感を共有する機会の創出と継続的な実施  
・サイクルアンドバスライドの継続的実施  
・シルバーバスの周知活動の継続的実施  
・鉄道駅、福祉センター、イオンなどにおけるコミュニティバスPR活動の継続的展開  
・鉄道乗継ダイヤを時刻表やHP等に記載  
・鉄道時刻表や駅へのきんちゃんバス情報記載など鉄道事業者への協力依頼  
・西部臨海部立地企業へのモビリティ・マネジメントの展開